

会 報 第 66 号	M t . I w a k i C o n s e r v a t i o n A s s o c i a t i o n 岩木山を考える	2015 年 4 月 27 日 発行 岩木山を考える会 会長代行 小堀英憲
-------------------	--	---

2015年度 総会報告

今年度の総会が4月5日(日)弘前市参画センターにおいて22名の参加で行われました。2014年度のまとめと決算、2015年度の活動方針と予算案が討議、採択されました。これまで総会参加者数が10数名と低迷していました。今回、往復葉書で参加を呼びかけたところ、要請に応じて下さり会場一杯となりました。又、返信で近況を伝えて下さり幹事会として会員の状況を理解できました。

登山道の安全について、ホームページの更新について、避難小屋の今後にむけてなど意見交換を深めました。会の体制については、現体制を続行します。会計監査に佐藤文猛さんが加わり2人になります。

年に一回、会の進め方について多くの会員と顔を合わせて交流できたことはとてもうれしいことでした。観察会の参加を車がないことで見合わせていた方は、担当者に相談下さい。出来るだけ期待にお応えしたいと思います。

藤原裕貴子 記

平成 26 年 (2014 年) 度 収支決算報告書

会計年度 : 平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 27 年 3 月 31 日

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差引増減	備 考
前年度繰越金	776,404	776,404	0	26 年度会費 ¥57,000, 27 年度以降 ¥75,000
会 費	125,000	107,000	△ 18,000	26 年度会費 ¥72,000, 27 年度以降 ¥35,000
寄 付 金	0	45,000	45,000	18 件 ¥45,000, 25 年度以前の会費 ¥13000 (8 件)
利 子	50	138	88	
雑 収 入	0	7,370	7,370	5/11, 10/19, 11/19 岩木山講座残金
	901,454	935,912	34,458	

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差引増減	備 考
会 議 費	10,000	5,700	4,300	総会及び幹事会会場費
事 務 費	30,000	12,534	17,466	インク・コピー代
会 報 費	60,000	44,072	15,928	3回印刷・用紙・封筒・送料
郵 送 費	10,000	17,313	△ 7,313	ハガキ代・総会通知
シンポジウム	30,000	9,000	21,000	岩木山講座保険料
写 真 展	20,000	15,165	4,835	会場費・資料作成費(インク代含む)他
調 査 費	30,000	3,000	27,000	ガソリン代
予 備 費	711,454	47,906	663,548	東北自然保護の集い参加補助
	901,454	154,690	746,764	

差引収支 935,912 - 154,690 = 781,222

平成 27 年 (2015 年) 度 予 算

会計年度 : 平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 27 年 3 月 31 日

収入の部

(単

位:円)

科 目	決 算	予 算	備 考
前年度繰越金	776,404	781,222	27年度会費 ¥53,000, 28年度以降 ¥57,000
会費	107,000	73,000	27年度会費納入予定額
寄付金	45,000	0	
利子	138	100	
雑収入	7,370	0	
	935,912	854,322	

支出の部

(単位:円)

科 目	決 算	予 算	備 考
会議費	5,700	10,000	総会及び幹事会会場費
事務費	12,534	20,000	弥生ネット年度会費・資料コピー代 他
会報費	44,072	50,000	3回分印刷費・用紙・封筒・送料
郵送費	17,313	20,000	総会通知
シンポジウム	9,000	30,000	会場費・謝金・資料作成費
写真展	15,165	20,000	会場費・資料作成費
調査費	3,000	20,000	ガソリン代
予備費	47,906	684,322	東北自然保護の集い参加補助
支出合計	154,690	854,322	

第 1 回岩木山講座「松代（小白沢）の山野草観察会」（予告）

15 年度第 1 回岩木山講座「松代（小白沢）の山野草観察会」は、岩木山北西部の小白沢に自生する山野草の観察と近くのブナ林を散策する講座です。募集要項は下記の通りです。

日 時 15 年 5 月 10 日（日）

募集人員 先着 25 名

集合場所 ミズバショウ沼公園駐車場

持ち物 雨具・防寒具・長靴・必要に応じて飲料水

参加費 200 円（保険料・資料費）

申込先 竹谷清光（TEL 0172-36-6686 17 時～21 時）

申込締切日 15 年 5 月 7 日（木）

第 21 回写真展「私の岩木山」無事終了

写真展「私の岩木山」は 15.02.06（金）～08（日）の 3 日間、NHK 弘前放送会館ギャラリーで開催され、期間中の入場者数は 252 名と盛況の内に終了しました。



岩木山を考える会の会員 16 名により撮影された 65 点の写真は、四季折々の岩木山の表情や、岩木山に自生する山野草など、故郷の山「岩木山」に因む素晴らしい作品が多く、ご来場のお客様は楽しそうに観ながら、感動されていました。

特設コーナーの 14 年「岩木山講座」活動記録は、写真約 50 枚を貼り付け、14 年度に開催された 5 回の観察会やセミナーを紹介し、また岩木山に自生する絶滅危惧種の山野草の写真 9 点も紹介しました。来場者の皆さんは、会員による説明に真剣に聞き入っていました。

写真展は会員の交流の場でもあります。

花田一雄 記

14 年度第 6 回岩木山講座

「岩木山嶽山麓の雪原を歩いてみよう」報告

14 年度最後の岩木山講座「岩木山嶽山麓の雪原を歩いてみよう」は、晴天の中で開催されました。参加者総勢 14 名は午前 9 時に嶽温泉 P に集合。車数台に分乗して散策コース始点まで移動します。

カンジキ、スノーシュー、つぼ足と参加者それぞれのスタイルで歩き始めます。

最初はオニグルミのヒツジに似た葉痕観察から、そしてトチノキ、ホオノキなどの葉痕も途中で見る事ができました。今回の雪原散策コースには、ホザキヤドリギ、アカミノヤドリギ、ヤドリギ 3 種のヤドリギが着生していますが、残念ながら実はほとんど残っていませんでした。野鳥のヒレンジヤクが好む実でも知られています。

ブナの葉に包まっていた蛾の網目模様のサナギの殻や、動物の足跡も多く見られ、カモシカ、テン、ウサギ、イイズナ、ヤマドリなどなど、個性のある踏み跡は印象的でした。特にイイズナ(飯



綱、イタチ科の肉食の哺乳類でコエゾイタチとも呼ばれる。北海道に棲む種はキタイイズナ、北東北のものはニホンイイズナ。特に北東北の種は絶滅のおそれがある個体群として環境省レッドリストに登録されている)の足跡は参加者全員が、興味深かったようです。

散策開始地点(標高 480m)から 2 時間 40 分、標高差 120m、歩行距離 2.5km の

雪原を歩き、途中つぼ足の参加者は何度か雪に足をとられながらも、和気藹々に楽しく終了しました。


花田一雄 記

岩木山山麓の雪原観察会に参加して

3 月 29 日、岩木山を考える会主催の雪原観察会へ参加させていただきました。当日は最高気温 17℃、快晴のもと、会員 7 名、一般 7 名の計 14 名の参加でした。嶽温泉の手前の林道を上った標高 600m 位の地点から、動物の足跡や樹木の冬芽などを観察しながら歩きました。オニグルミやトチノキ、ホオノキの冬芽や葉痕など、この時期ならではの楽しみです。「イイズナ」の通り道の穴を見たのも初めてで興味深かったです。雪の上でよく見る黒い小さな虫はセツケイカワゲラという名前だったと知りました。阿部先生や竹谷さん、会員の皆様に丁寧に説明していただき、楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。


工藤淑子 記

会員継続と平成 27 年度会費納入のお願い

 当会の活動にご理解、ご支援をいただきありがとうございます。今年度も引き続き、会員継続とご協力をよろしくお願いいたします。

会費は同封の払い込み用紙または最寄りの幹事を介してお納めください。なお、平成 26 年度までの会費を未納の方、または平成 27 年度以降の会費をすでに納めていらっしゃる方には、納入状況をお知らせする付箋を同封しておりますので、ご確認ください。付箋が同封されていない方は、平成 26 年度までお納めいただいている方です。(2015.4.5.現在)

会員の皆さんへお願い

 岩木山に関する情報やこういう事を会員皆と共有したいと言った希望がありましたら、事務局までご一報下さい。会報は会員の皆さんの交流の場です。また、寄稿なども大歓迎です。

※編集後記

大雪だった昨冬から一転、3月は暖かく一気に雪解けが進みました。雪解けして我が家のりんご園に表れてきたのはネズミの食害です。自宅のある畑はキツネやフクロウのおかげかほとんど被害がなかった一方、もう一か所の畑は樹齢20年を超えるような大きな木でも人の背丈近くまで樹皮を齧られてしまいました。そんな状態の木が数本、今までにない被害です。原因は積雪するのが早かったこと、草刈りをあまりしないので元々ネズミの密度が高かったことが考えられます。ネズミはりんごの害獣なので草刈りをこまめにしたり毒餌を撒いたり普通の農家は徹底的に排除しようと思いますが、僕は土を耕す役目を持っているのである程度は必要な存在だと思っています。しかし、多すぎてもよくない。その丁度いいバランスを探すのが今後の課題です。何事も程度問題ですね。政治でいえば右過ぎても良くないし左過ぎてもよくない。性善説も性悪説もどちらかに偏るほど真実から遠ざかる。丁度いいバランスで世の中が成り立っていてそれでこそ世界が面白いと感じさせてくれます。

小倉慎吾 記

会報「岩木山を考える」第 66 号(2015 年 4 月 27 日)発行 / 岩木山を考える会
副会長(会長代行) 小堀英憲

〒036-8131 青森県弘前市千年 4-12-15 / 電話 0172-87-1910

事務局長 竹浪 純 / 電話 070-6952-2614

郵便振込口座番号 02380-0-37914 振込先: 岩木山を考える会